

一人前の盲導犬 になるまで

盲導犬候補生の誕生！

公益財団法人北海道盲導犬協会では、繁殖犬飼育ボランティアの協力により、年に70〜80頭の盲導犬候補生である子犬が誕生しています。そのうち約15頭が一人前の盲導犬として成長し、盲導犬を必要としている盲導犬ユーザーの元へ送り出されています。

元気に生まれてきた子犬たちは、誕生から約50日の間は、母犬や兄弟たちと一緒に育てられます。

パピーウォーカーの家庭で飼育

生後約50日を迎えた子犬は、1歳になるまでパピーウォーカー（子犬の里親）の家庭に預けられます。ここで、家族の一員としてたくさんの愛情を受けながら心身ともに大きく成長していきます。また、かわいがられて成長することによって、人のことが大好きで人に優しい盲導犬の基本ができていきます。

パピーウォーカーの元で1歳まで育てられた犬は協会に戻り、訓練士による盲導犬の適性評価を受けます。盲導犬に向いていると評価された犬たちは、いよいよ盲導犬になるための訓練が始まります。



誕生～約50日

繁殖犬飼育ボランティアの家庭で誕生！



約50日～約1歳

パピーウォーカーの家庭でたくさんの愛情を受けて成長します。



約1歳～2歳前後

盲導犬協会では、盲導犬になるためのさまざまな訓練を受けます。



約2歳～12歳くらいまで

盲導犬ユーザーの元で盲導犬として活躍します。



約12歳から

盲導犬引退後は、老犬ホームや、老犬飼育ボランティアの家で過ごします。



盲導犬育成はもとより、視覚障がい者への生活訓練や、地域行事に積極的に参加するなど地域貢献にも力を入れています。



盲導犬を支援している方への感謝の気持ちを込めて、毎年4月に「ガイドドッグオープンデー」を開催しています。（平成23年度は10月2日に開催）



多くの方々に盲導犬育成事業を知ってもらうため、訓練犬や訓練施設などの見学会を月に1回実施しています。